

令和7年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第5講座を開催して】

10月20日（月）、秋芳地域まちづくりセンターにおいて、令和7年度美祢市人権教育ふれあい講座（第5講座）を開催しました。

『防災と人権』をテーマとして、一般社団法人レベルフリー 気象防災アドバイザー 坂本 京子（さかもと きょうこ）氏から、「たいせつな人を守るための防災～災害時の多様性について考える～」と題して、御講演いただきました。



ご自身が経験された阪神淡路大震災や東日本大震災から、避難所で必要とされている援助や配慮についてお話していただきました。特に印象深かったのは食事のアレルギー対応に関することでした。避難所生活でも、誰もが自分らしく生活できることが大切だと感じました。

【受講者の主な感想】

- 改めて災害に対する意識を持つことができた
- 改めて災害時の自身の行動や役割について考えることができた。
- スフィア基準や、実際の避難所で起こる問題や留意すべきことが知れて良かったです。
- 今まであまりないテーマでよかった
- 山口市や防府市などでいろんな防災訓練をされていたので、美祢市でもしてほしいと思った。
- 内容が具体的で良く分かった。声が聞き取りやすかった。
- 講師ご本人が実際に災害を経験されているので臨場感がありました。テレビでお顔は知っていましたが熱の入ったお話、ありがとうございました
- 自身が被災した事がないので、防災用品は準備しているものの、「心構えが出来てないな」と実感しました。
- 避難所運営の現実的な課題を地域の方と話し合う機会をつくる必要性を強く感じた。
- 防災に対する認識や避難所での避難者に対する配慮等について、とてもわかりやすく説明され、とても勉強になりました。
- 立場によって援助が違い、相手の方への思い遣りが大切だと実感しました。

- 日頃から災害への備え、避難所での人権(他者への配慮)など参考になりました。
- 避難所では自分の感情を理性では抑えられなくなる状況に陥るのだと想像できます。そうした時に、共助の意識をその地域がどれだけ醸成することができるのかがポイントになるのだろうと、お話を拝聴しながら考えていました。
- さすが「しゃべりのプロ」、とても聞き取りやすい声で講演内容も理解しやすかった。現代生活に極めて必要な講演内容であり、もっと多くの市民に聴かせる必要があるとおもいます。
- 避難所の食事について、アレルギーのある子、障害のある子への対応がとても印象に残りました。何気なく使っている食材やだしなど、ちゃんと見た方がいいですね。
- 「だいじょうぶ」ではなく「もしも」を考えながら日々生活したいと思いました。
- 災害が起こった時の食事の内容など、細かく分かった。後半のアレルギーのお話は考えさせられました。
- 坂本さんのパワフルな講演、学びがたくさんありました。同じ地域の方と聞いたこともよかったです。
- 今一度、災害に備える心構えを考えることができました。